

事後評価書

箇所名	紀南地区		事業名	中山間地域総合整備事業	課名	農業基盤整備課																					
事業概要	工 期 (下段計画)※	平成13年度～平成21年度		全体事業費 (下段計画)※	3,042百万円(負担率：国55%：県30%：他15%)																						
		平成13年度～平成20年度			3,050百万円(負担率：国55%：県30%：他15%)																						
事業目的及び内容		<p>当事業区域は、熊野市、御浜町、紀宝町に跨る中山間地域であり、農地は急傾斜地・未整備で分散しているなど、地理的条件が不利な地域で、高齢化とも相まって農地の保全が課題となっています。一方で、紀勢道・熊野尾鷲道路の延伸など、道路交通の整備が進展してきており、都市と農村、生産地と消費地の距離が縮まっています。</p> <p>こうしたことから、当事業は、ほ場整備や用水・排水などの農業生産基盤の整備を行い農地の汎用化、農作業の省力化、農業経営の安定化を図りつつ、あわせて農業集落道や活性化施設等の生産環境基盤の整備を行うことにより、地域の振興を図ることを目的として実施されました。</p> <p>農業生産基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用排水施設整備 L=9.6km、農道 L=8.2km、ほ場整備 A=12.2ha 農地防災 ため池 3箇所 <p>生活環境基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業集落道 L=2.0km、集落防災安全施設 防火用水 1箇所、 農村公園 1箇所、活性化施設 1箇所 生態系保全施設整備 L=0.5km 																									
1・事業の効果																											
「直接的効果」																											
① 計画時の事業目的の達成状況の評価																											
<p>ほ場整備、道路・水路の整備を行うことにより農作業における機械化や、ほ場の排水不良の解消が図られたことに伴い、農作業の効率化や維持管理労力が軽減され、耕作放棄地化が防止されています。</p> <p>研修室や加工展示室を備えた活性化施設で、地元農家・地域の研修の場として利用されており、加工展示室では、地元の特産品であるみかんを持ち込みジュースの加工で利用され、評価を得ています。</p>																											
② 当初の効果と完了後の効果の比較結果 (S63 解説 土地改良の経済効果による)																											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">計画時の投資効率</td> <td>=2.45</td> <td style="width: 33%;">活性化施設の利用人数</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>現在の投資効率</td> <td>=2.04</td> <td>計 画</td> <td>5,838人</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実 績 (H25)</td> <td>5,272人</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>							計画時の投資効率	=2.45	活性化施設の利用人数					現在の投資効率	=2.04	計 画	5,838人						実 績 (H25)	5,272人			
計画時の投資効率	=2.45	活性化施設の利用人数																									
現在の投資効率	=2.04	計 画	5,838人																								
		実 績 (H25)	5,272人																								
③ 完了後の利用、維持管理の状況はどうか																											
<p>農業生産基盤の整備により農業機械の導入が進んでいます。また、土地改良施設については維持管理労力が低減されました。整備をキッカケに集落営農が広まりつつあるものの、まだまだ個人個人による維持管理が続けられている状況です。</p>																											
「間接的効果」																											
① 波及的効果はどうか																											
<p>活性化施設でジュース加工にみかんを持ち込む農家の方から、充分おいしく食べられるが傷がついたみかんなどをやむを得ず廃棄せざるを得なかったみかんが減ったであるとか、都市で生活する子や孫に送るという縁の品になり、ありがたいとの声をいただいています。</p>																											
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化																											
<p>アンケート結果からは「排水が良くなった」「用水がきれいになった」など意見をいただいています。</p>																											

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

農産物価格が低迷し、高齢化が進展しているなか、営農意欲が低下していましたが、農業生産基盤の実施により、生産性が向上したこと、維持管理の省力化が図られたことで、農業意欲や地域の農地を守っていこうとする意欲が高まっています。

4・県民の意見

① 県民の意見の収集方法について

- ・事業地域内の全39集落から事業費の多い10集落を抽出し、それぞれ集落から各20戸、全体で200戸にアンケート調査を実施しました。
- ・質問事項は、1. 中山間地域整備事業の認識の有無、2. 農作業の委託の有無、3. 農業面での効果の有無、4. 今後の農業の方向、5. 生活環境基盤整備の効果の有無、6. 活性化施設の効果の有無、7. 農地や施設の管理状況、8. 自然環境・環境への影響の有無、9. 今後、事業を実施する場合の配慮すべき点について、の9項目です。

② 県民の意見の内容（全体の意見と肯定、否定意見等）について取りまとめ、評価する

- ・アンケートでは農家101戸、非農家58戸、計159戸から回答を得ました。（回収率80%）

① 事業の認知度は86%でした。

② 農作業の委託については、全体の27%がなんらかの作業を委託しており、その内15%は基幹3作業を委託しています。

③ 事業実施による農業面での効果（複数回答）では、79%が「効果があった」と評価しており、特に「農作業が楽になった」60%、「農道や用水路、排水路の維持管理が楽になった」40%、また「耕作が継続されるようになった」24%、「耕作放棄地対策として効果があった」16%など、耕作放棄の防止効果が評価されています。

④ 今後の農業の方向については、78%が「今後も農業を続けたい」としており、事業実施により営農意欲が高まっていることがわかりました。一方で、「農作業を委託したい」との回答は9%にとどまり、自分の土地は自分で耕作するという考え方方が根強く残っていることがわかりました。このような結果を踏まえて、担い手への委託にかかる取り組みを進める必要があります。

⑤ 農村生活環境整備の効果（複数回答）では、75%が「効果があった」としており、「道路の通行がスムーズになった」51%、「集落内の排水が改善された」23%など、事業の実施が地域の生活環境向上に寄与していることがわかりました。

⑥ 農地や施設の管理状況については、54%が「適正である」と回答し、7%が「適正でない」と回答しています。

⑦ 自然環境・景観への影響について、「よい影響」「変わらない」が自然環境・景観とも70%に対して、「悪い影響」2%と事業による負の影響は比較的小さかったことがわかりました。具体的な影響として、雨水の流入が多くなった、草刈りが出来ていないという記述があり、事業実施の際に考慮すべき事項であると考えます。

5・再評価の経緯

再評価の実施はありません。

6・今後の課題等

○中山間地域においては、過疎と高齢化による後継者不足により営農意欲が減退し、耕作放棄が懸念されましたが、整備箇所周辺ではそのような農地は見られませんでした。しかし、農地のあぜ草刈や用排水路の維持管理を農家のみで実施することは困難な状況になってきています。このため、農地や農業用施設は、地域の共有資源として非農家も含めた地域全体で管理に取組むことが必要となっていました。このことへの対策として「多面的機能支払」が制度化され、維持管理や環境美化活動に対し財政的支援が行われるようになりました。本地域においてもこれを推進し、地域の活動を支援していきます。

○現在、活性化施設の利用は計画の90%となっていますので、今まで以上に施設のPRを行うとともに、県主催の会議等で積極的に利用し、利用人数の向上に協力していきます。

今後の中山間事業における事業の実施については、こうした認識をふまえ、地域の人とともに考え、効率的で効果的な事業実施を行っていきたいと考えています。

※再評価実施事業は（下段前回）とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は（下段当初）とし、当初計画時の内容を記載する

中山間地域総合整備事業（広域連携型） 紀南地区

紀南へ、こんし！自然まるかじり体験の郷

